

あかるく  
なかよく  
たくましく



# 学校だより

武岡台養護学校 令和5年3月7日(火)

学校ホームページアドレス

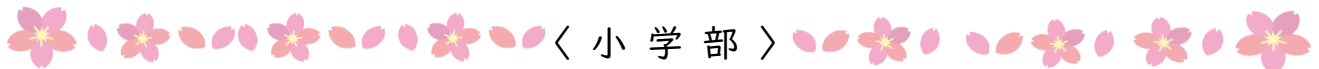
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html>

## 子どもたちの「やってみよう!」を大切に

教頭 脇 博美

1月に実施した小・中学部の入学予定者面接の際、少し緊張している新入学児の様子を見ながら、職員「今の1年生も1年で成長しましたね。」と実感のこもった言葉が多く聞かれました。この1年間、日々の授業や学校行事、高等部を中心としたスポーツ大会への参加や各種検定受検など、たくさんの子どもの挑戦がありました。うまくいかないときに先生や友達の支えを励みにしながら、何度もチャレンジして「できた!」という達成感にあふれた表情は、いつも輝いています。この成功経験は自信にもなり、次にチャレンジするための原動力になります。一方、自分の思い通りの結果が得られずに悔しがる姿もありました。悔しがるということは、それだけ真正面から向き合ったという気持ちの表れであり、子どもたちの成長においても大事な経験です。子どもたちが発信する「やってみよう!」というメッセージを見逃さず、学校、家庭、関係機関が、相互に連携しながら支えていくことが大切であると考えます。引き続きよろしく願いいたします。

児童生徒の皆さん、卒業・進級おめでとうございます。また、この春は、4月からの鹿児島南特別支援学校開校に伴い、これまで一緒に学んできた友達とお別れすることになります。離れても大切な仲間であることは変わりません。新しい出会いの中で、頑張る皆さんを応援しています



小学部を卒業する30人の皆さん。そして、子どもたちを支えてこられました保護者の皆様。御卒業おめでとうございます。

「自分でできることは自分で!」自立に向けて、なるべく自分でがんばってみよう。「失敗しても大丈夫!チャレンジ!」結果よりも過程を大切にしよう。この二つを合い言葉に様々なことに挑戦してきました。壁にぶつかっても、踏ん張って乗り越えてきた6年生の子どもたちの顔は、頼もしく、全力で何事にも取り組む姿勢は、きっと下級生のお手本となったことでしょう。

鹿児島の歴史と川のせせらぎを感じて、そうめん流しを満喫した「校外学習」。砂蒸し温泉や海岸での散歩でリゾート気分を感じた「修学旅行」。『一人一人が英雄!』心をつなげた竹太鼓の演奏、桜島の創作画や鹿児島の早口言葉にツバメダンス、そしてYUME日和の曲に合わせた手話で『友達・思い出・感謝・夢』を表現した「学習発表会」など振り返るとまだまだ思い出は尽きません。子どもたちにとってこれらの経験が、更に結束力を高め、友達を大切に考えることのできる素敵な集団に成長させてくれたように感じます。成長を一番近くで一緒に感じられたことは、本当に幸せでした。いつも教育活動に御協力いただき、支えてくださいました保護者の皆様に感謝いたします。



卒業生の皆さん。これからも様々なことに挑戦する気持ちや他者を思いやる心を忘れずに、中学部でも努力し続けてください。更なる成長と飛躍を期待しています。いつまでも見守っています。ずっと応援しています。

さあ!怖くはない。不安はない。君たちは大丈夫。君たちは、最強だ!  
(小学部 第6学年 学年主任 久保田 剛)

## ＜ 中 学 部 ＞



中学部を卒業する皆さん、御卒業おめでとうございます。入学したときは、あどけなさの残る21人でしたが、三年間という月日は、みなさんを立派に成長させてくれました。三年間を振り返ってみると、「明るく・仲良く・たくましく」の校訓そのもののような皆さんでした。いつも明るく、教室には笑い声がたくさん響き渡り、友達と助け合いながら仲良く学び、大変なことでも進んで手伝ってくれるたくましさも身につけました。1年生の校外学習では、鹿児島島の歴史に触れながら、そらバスで巡った県庁や御楼門、ボードウォークでのお弁当など、みんなの笑顔と空の青さがひとときわ爽やかでしたね(トンネルや信号の近さに驚きました)。学習発表会では、先生たちが心配そうにそばに寄り添いながら発表した1年生の合唱や合奏。2年生になると、友達同士で練習することも増え、本番でも自信が見られるようになりました。そして3年生になると、それぞれの役割に責任を持ち、堂々と演技したり、友達とリズムを合わせながら元気に踊ったりする姿を見せてくれました。

入学当初から感染症対策でいろいろな活動が制限された三年間でしたが、修学旅行は日程等を調整しながら実施することができました。みんなで作った絞り染めや桜島の足湯。ホテルでは、夕焼けに染まる景色を眺めながらの温泉。思い出がたくさんできました。

皆さんは、一言では語り尽くせないたくさんの経験を21人の仲間と積み重ねてきました。これから、全員がそろふことは難しいかもしれませんが、みんなで作り上げた思い出は消えることのない真実です。これまで支えてくれた友達や家族、先生たちへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも、新たな友達と出会い、多くのことを経験し、自分の未来を信じて歩いてください。

(中学部第3学年 学年主任 砂走友隆)

## ＜ 高 等 部 ＞

高等部を卒業する44人の皆さん、御卒業おめでとうございます。振り返ってみると、皆さんが高等部に入学したのは新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃で臨時休業や分散登校が続き、見通しのもちにくい中でのスタートでした。そのような状況の中でも、新しい環境で友達をつくったり、友達や教師と一緒に活動したりと、皆さんの笑顔が輝いていたのを思い出します。授業でも日常生活でも、何か話せばすぐ反応が返ってくる、それぞれ自分のカラーをもって、賑やかで活発な学年という印象でした。

活動が制限される中で、普段の学習や産業現場等における実習(校内2回、校外5回)、運動会や学習発表会などの学校行事等でさまざまな経験を重ね、働くことについても学ぶことができました。友達や教師とのやりとりを通して伝え合う力も伸び、主体的に取り組めることも増えました。今年度の学習発表会では成長した姿に多くの人が感動しました。

そして現在、皆さんは社会に向けて飛び立ちます。同じ時を過ごした仲間、親身になってくれた家族、今まで出会った人達、今から出会う人達への感謝の気持ちを大切にしてください。自分が身に付けてきた力を信じて、それぞれの持ち味を発揮してこれからの人生を進んでいってほしいと思います。夢に向かって前進!!

(高等部3学年 学年主任 狩集 由賀)

